

堺市の生物多様性にふれる冊子

堺いさものの通信



コアオハナムグリ

2023 春号

堺にすむ いきもの のたち



ツマキチョウ



キビタキ



フリソデヤナギ



ヒバリ



ニホンカナヘビ



サワガニ



ニホンカワトンボ



ウスカワマイマイ



ヨツモンクロツツハムシ

生物多様性とは、単に動物や植物の種類が多いということだけを意味するものではありません。地球上では、様々な環境の中で多様な生き物が食べる・食べられる・共生するなど、お互いにつながりをもって生きています。このように、多様な生き物がお互いにつながりをもって生きていることを生物多様性といいます。

ここでご紹介する写真は、すべて堺市内で撮影された写真です。WEBサイト「堺いきもの情報館」に市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。**生物多様性とは身近なものですよ！**



トノサマガエル

いき

もっと もの知りになれる！

生物多様性のおはなし

生物多様性の保全というと、身近な自然環境や生き物の保全について考えるかもしれませんが、今回は、日本に住む私たちのライフスタイルと生物多様性のつながりをより大きなスケールで考えてみようと思います。

国際的な物流ネットワークにより、私たちは日常的に、外国産の食品や衣料品などを消費しています。私たちの生活はとても豊かですが、日常的に世界中の「生物多様性の恵み」を消費しているともいえます。つまり、日本に住む私たちの毎日の消費行動が、外国の生物多様性に大きな影響を与えているのです。例えば、私たちが使用する石鹼に使われるパーム油の生産のために、東南アジアの熱帯雨林が伐採されていることは有名な事実です。またある研究によると、日本の消費行動は、近隣のアジア諸国だけでなくヨーロッパ、アメリカなど全世界の生物多様性に影響を与えており、その大きさは、国内の生物多様性への影響よりも大きいと報告されています。日本に住み、豊かな暮らしを送る私たちによって、世界中の生物多様性が脅かされているのです。

前号まで、生物多様性を守るためのエシカル消費などを紹介してきました。これらは、とても小さな行動に思えるかもしれませんが、世界の生物多様性の保全に貢献できる大きな行動なのです。豊かな暮らしを送るものの責任として、生物多様性の保全を進めていきましょう。



堺市の生物多様性を考えるWEBサイト

《編集・発行》

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp



WEBサイト
トップページ

ユーザーネーム
sakai_ikimono /



Instagram
アカウント